

岡崎城の展示リニューアルについて

○ 施設の概要

所在地：岡崎市康生町561番地1

建築面積：292.78㎡

延床面積：1,068.14㎡

構造：鉄筋コンクリート造 3層5階

竣工：昭和34(1959)年3月30日（開館：昭和34年4月5日）

○ 現在の開館時間・利用料金等

開館時間：9:00～17:00（入館受付は16:30まで）

休み：年末（12月29日～12月31日）

利用料金 一般 200円（大人：中学生以上）、100円（小人：5歳以上）

多言語対応

音声ガイドシステム（ボイスペン）の貸出しにより、英語、中国語、韓国語による案内。

※リニューアル後の利用料金は検討中

● 展示改装の履歴

平成3(1991)年度 家康公生誕450年（1992年）を機に大幅な展示改装を実施。

平成19(2007)年度 耐震工事に伴う展示改装を実施。

*改修の規模としては、平成3年度以来の大幅な展示改装となります。

● 展示改装費

展示改装業務委託料 177,771千円

（契約期間 令和4(2022)年4月1日～令和6(2024)年3月31日）

● 展示改装のコンセプト

- 1Fから5F展望フロアまでを、「過去の城郭・城下町と現在の岡崎がつながる」ストーリーとして再構築し、岡崎城の魅力、岡崎の歴史文化を分かりやすく感じていただき、現在のまちへの回遊を促す。
- 映像コンテンツを新たに導入。コンテンツの入替えにより、何度も訪れてみたくなる話題スポットの一つとなり、リピーターの獲得・拡大を図る。

● 各フロアのテーマと主な展示

改装前	フロア	改装後	新たな展示、見どころ！
「展望台」 ビスタラインスコープ	5F	「展望台」 ビスタラインスコープ デジタルサイネージ	デジタルサイネージを設置し、まち歩き の情報を発信し回遊を促します。
「城と城主」 城郭模型、出土品など	4F	「シアタールーム」	床面に投影された城下町を歩くと、シア ター内に様々な映像が現れ、現在のまち と江戸時代の城下町を比較・体感できま す。
「城下町の文化と産業」 ジオラマ、地場産業品など	3F	「岡崎城下の賑わいと文化」 ジオラマ、地場産業品など	ジオラマとAR（拡張現実）で、賑わう城 下町を疑似体験。石工、八丁味噌、花火 など現在につながる産業文化を紹介しま す。
「藩政と支配」 パネル展示、刀剣、武具、 鯨瓦など	2F	「岡崎城の城郭と歴史」 城郭模型(4Fから移動)、出 土品、刀剣、武具など	城郭模型とプロジェクションマッピング により岡崎城の城郭の特徴を解説しま す。
「エントランス」 天守心柱の礎石・石垣	1F	「エントランス」 天守心柱の礎石・石垣 鯨瓦(2Fから移動)	天守の遺構を集約し紹介します。

● その他（別途工事）

- 天守の外壁塗装。
- 附櫓(つけやぐら)1階に洋式トイレ1基増設。
- フロア内装 2・3・5Fは木目調の床材へ
変更し、壁面塗装により、全体的に明るい雰
囲気とします。
- 照明設備のLED化。

● 休館期間

2022年6月16日(木)～2023年1月(予定)

● 今後のスケジュール

- 6月16日～ 展示改装着手
- 7月1日～ 天守の外壁塗装着手
天守に足場、覆いを設置（10月31日まで(予定)）
- 2023年1月 リニューアルオープン
（ドラマ館と同時オープン）
- 2024年1月までにシアター映像入替え2回予定



※画像はイメージ画像です。